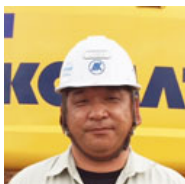


大規模メガソーラーでも大活躍！

ICT活用で
生産性向上への期待

今回の現場は、山口県萩市の大規模（土量350,000m³）のメガソーラー造成工事。施工するのは、大阪府に本社を置く(株)富島建設 中国支店様。担当営業に導入の経緯を聞いた。「富島建設様は、ICT施工にいち早く取り組んでおり、ICTを活用した現場管理や検査業務の効率化を図っていました。そこで現場監督の篠原達也さんと元請さんにスマートコンストラクションの説明をさせて頂きました。」と話した。現場監督・土木部所長の篠原達也さんに聞いた。「ICT建機を導入した現場で効果が実証されているという話は聞いていました。今回の現場は丁張が困難な場所があった為、ICT建機が性能を発揮してくれるのではないかと思い導入しました。」と教えてくれた。



現場監督・土木部
所長 篠原達也さん



オペレータ 藤井正則さん

広島県
(株)富島建設
中国支店 様

創業70年に及ぶ重機土木・
機械化土木のパイオニア
敷地造成・高速道路・空港
ダム（大分川ダム、
小石原川ダム）等で
大型建設機械を駆使し
施工している。

雲仙普賢岳では、
無人化機械で
ICTを活用し施工中。

掲載月:2017年2月

丁張りレスで
倍以上のスピード施工

ICT建機の感想を篠原現場監督に聞いた。「設計図面がICT建機に取り込んでいるから、丁張り設置作業の待ち時間や確認作業の手間が省けたよ。今回の現場は区画整理が多かったが、区画毎の図面も建機に取り込んでいる為に天候や土質によって使用したい区画をいつでも作業開始が出来て大変効率がいい。ICTブルドーザーは文句なしでいい施工をしてくれた。」と話した。PC200iに乗ったオペレータの藤井正則さんに感想を聞いた「従来だと丁張りの高さを見ながら作業するので、建機から乗り降りしないといけなかったが、ICT建機だとその必要が無いから楽だし、操作に慣れたら倍以上のスピードで作業が出来た。」と話した。こちらの現場ではICT建機で施工をした箇所を目安に従来機で施工をするという現場経験者だからこそその活用もしたそうだ。

